

NPO法人 共に歩む市民の会 会 報

共に歩む市民の会広報委員会

通巻 第50号

〒241-0022

横浜市旭区鶴ヶ峰 2-1-16

☎045-953-6727

2017年 11月 15日 発行

「まだまだ道半ばですがよろしく」

理事 田中 梨奈

本年度から新しく理事に就任した田中と申します。(大の猫好きです。)

長年、神奈川病院のソーシャルワーカーとして働いてきて、今も地域の様々な方々や団体にお世話になっております。自分なりにできる事に参画もしてきました。たまり場、ほっとぼっとを創る時のみんなが熱い期待に胸をワクワクさせたこと。入院患者さんの退院のために無い知恵を絞り苦勞の末地域移行ができて喜ぶ顔を見られたこと。若い頃は力不足情けなくて悔し泣きもしました。しかし、病を抱えながら生き抜く当事者が主人公、伴走的に傍に居ることが役割なのだと思います、力が抜けてからむしろ当事者やご家族に教えてもらうことばかりです。

今、臨床診断・治療・研究は進み、リハビリ支援のシステム、制度や社会資源、啓発も拡充しつつあるように見えます。しかし、まだまだ課題は山ほどあります。

長期入院者の地域移行、高齢化、社会的偏見、孤立、治療への参加・選択権、生活・人生における自己決定権が保証されているか、まとめると一人の人間として人権が本当に大切にされているのでしょうか？



共に歩む市民の会は、その疑問を一緒に解決してゆく団体だと思います、理事となった次第です。柔らかな心と、強い意志と、素敵なお顔の深井理事長を始めとする皆さま、非力な私ですが、仲間として一緒に頑張らせていただきたいと思います。

「再任です」

理事 佐藤 極美

特定非営利活動法人地域精神医療を考える市民の会 葦の会職員の 佐藤極美です。一年ほど前に一度理事をさせていただいていました。

今回は再任ということで、「共に歩む市民の会」のお手伝いがまたできればうれしく思います。

「理事就任にともなう自己紹介」というテーマをいただきました。前回の会報をお読みになった方は、あれ？どこかで読んだことあるぞ・・・とお思いでしょうが、またお付き合いください。

私は横浜生まれ、横浜育ちで生粋のハマッコです。小さい頃はオテンバで、よく木登りをしては、ビワ、柿、をとって友達とおやつにしていました。また虫網やバケツを持って田んぼや、湧き水のある神社に行き、ザリガニ、ドジョウ、タガヤシ（めだかに似ている小さな魚）オタマジヤクシ、カエル、等を捕まえて遊んでいました。

横道で花のにおいをかぎ、犬や猫に放し飼え、つつじの蜜を吸い、むかごやつくし、のびる、ヨモギを摘んで家に持ち帰り、母に調理してもらったことを覚えています。

そのせいでしょうか？結婚してからは主人とよくキャンプに出かけていました。子供が生まれてからも週末を利用して、伊豆静岡方面や千葉、茨城、福島の間、川、海へ自然を求め、たくさんキャンプをしに行きました。

今は庭先で炭をおこし、秋刀魚を焼き、孫とバーベキューを楽しんでいます。

今回も理事という大役ですが、微力ながらお手伝いをさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。



「自己紹介」

事務職員 鈴木 恵理子

4月より「共に歩む市民の会」の事務局スタッフになりました鈴木恵理子と申します。

私も生まれも育ちも横浜... 校歌は忘れましたが横浜市歌は今でもフルコース歌えると思います。

主人の転勤のため8年間長野市で過ごし昨年3月に戻ってきました。

信濃の国にどっぷりつかりリハビリに少々時間がかかりました。懐かしい旭区を五感で感じながら半年を過ごした頃、歩きなれた道でふと立ち止まり、ボランティア募集の色あせた紙、迷うことなくドアを開け、少しお話を聞いた後、ティラミスを食べてください???メンバーさんの手作りティラミス、美味でした。その後ランチボランティアに参加し個性豊かなメンバーさんと過ごすひとは「ほっと」し「ぽっと」力が湧いてきました。事務局スタッフになり皆さんと係ることが少なくなりましたが、毎週土曜日に2階事務室におりますのでお気軽に声をおかけください。

知識も経験もなく、スタッフの皆さん理事の方々との関わりから様々な事を吸収させていただき、支えられながら業務をしております。ここで知り合ったご縁を大切に「共に歩む市民の会」を裏方としてサポートしていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。



「地域を作ろう・私達（当事者）も知りたくなった当事者（仲間）の声」

当事者ニーズアンケート調査のプロセスと結果の報告から～

11月16日～18日に久留米で開かれる日本精神障害者リハビリテーション学会で発表してきます。これは共に歩む市民の会のあり方検討会が3年前から当事者アンケートをとりまとめてきたものです。途中経過は市民の会総会で発表させていただきましたので覚えてらっしゃる方も多いことでしょう。

以下、企画趣旨を掲載します。詳しいご報告は次回させていただきます。乞うご期待。

当企画では、当事者主体の地域支援のあり方を考える上で、当事者や地域の方々に行ったアンケート調査の実践を基に、「当事者のニーズ」についてだけでなく、「当事者の参加」や「地域住民・専門職ではない方々との協働」について、ディスカッションしたい。

横浜市旭区にあるNPO法人共に歩む市民の会では、旭区地域生活支援拠点「ほっとぽっと」を運営する他、当事者活動や様々な自主事業を行っている。H26年度から地域精神保健福祉のあり方検討会（以下検討会）を法人の職員・専門職だけでなく、当事者・家族・地域のボランティアや民生委員・行政職員などを参加者に加え行ってきた。その中で、検討会の当事者メンバーから「同じ仲間でもどのようなことを他の皆が求めているのかわからない」「いろいろな人達にどのような要望・希望があるのか聞いてみたい」という意見があがり、区内の地域活動支援センターや医療機関に通所・通院する方たち、並びに福祉保健センターや家族会を通じて社会資源などにつながっていない当事者も含めてアンケート調査を行なうことになった。

アンケート項目の作成や事業所・医療機関での説明などは当事者メンバーが中心となり実施した。結果、区内の精神障がいに関わる全ての地域活動支援センター（5ヶ所）のメンバー、精神科病院（4ヶ所）のデイケア・外来、そして病棟で入院中の方々もアンケート調査に協力して下さり、285名から回答を得ることができた。アンケートのまとめ、自由記述の分析も当事者含め、家族、民生委員など、普段調査などに関わったことのない方々が一緒に行った。

今回、アンケート調査実践の過程と結果を報告するだけでなく、それを基に、当事者の意見や希望をどのように汲みとり、一緒に地域を作っていくためには何が必要なのか、実際に調査を行ったメンバーと、この企画に参加して下さった方々とでディスカッションしながら、一緒に考えていければと考えている。

皆様に趣意書を送らせていただきましたところ多くのご寄付をいただきました。

寄付金は職員除く合計5名の参加費、交通費、宿泊費として使わせていただきます。

ここに感謝いたします。

※ご寄付をいただいた方（敬称略とさせていただきます）【10/27 現在（中間報告）】

藤塚恵・富田秀夫・松本紀子、康太・渡部スミ子・小田敏子・伊達和子・曾我新吉・武田浩司・ソー理恵・岡林郁子・桃井みち子・森輝幸・高幡勇・吉田和子・堀口和実・柿崎みえ子・斎藤弘子・白石大介・田代クリニック・寺本道代・田端久子・佐藤裕子・滝田和枝・小澤清子・岩淵勝昭・平野婦紗子・久喜さとみ・小川栄子・岩井美穂・木楽舎・川田剛・長谷川正幸・伊藤小糸・福原一彦・一瀬仁謙・田中梨奈・佐伯彰・むくどりの家・あけぼの会・阿部祐介・丹羽真理・清水かおり・加藤まみ・武井豊水・志澤喜久子・石渡桂子・浜田都美子

2017年11月～18年2月 共に歩む市民の会・ほっとぽっと スケジュール

★やみなべ会（市民の会会員のつどい）

日時 11/29(水) 1/31(水) 18時～

場所 ほっとぽっと本館2階

毎回、バラエティに富んだゲストをお呼びする予定。お気軽にご参加下さい。

なお、1月は恒例の「鍋会」の予定です。

★ほっとたつはな亭コンサート「クラシックで過ごす秋の午後」

今年も来演!!横浜バロック室内合奏団の小笠原伸子さん（ヴァイオリン）他による楽しいコンサート

日時 11/30（木）14：00開演（13：40開場）

場所 ほっとぽっと別館サロン

入場料（お菓子付）手帳をお持ちの方300円、一般700円、市民の会会員500円

*要予約制（先着25名）となっています。お問い合わせ：川田

★旭びあくらぶ主催 クリスマス会

日時 12/9（土）14：00～16：00

場所 ほっとぽっと本館2階、

30名予約制（事前予約は11/21にメ切ます）会費300円（ケーキ・ビンゴ代入）

やみなべ会（市民の会会員のつどい）のご報告

9月に行ったやみなべ会にはもとケアプラザ職員で現在は知的障害の地域活動作業所にお勤めのIさんにお越しいただきました。知っているようで知らない違う障害を持った方々のお話、ケアプラザ当時、鶴ちゃん喫茶を立ち上げたお話等々、お伺いすることができました。参加人数は決して多くはありませんでしたが、やみなべ会は市民の会の会員同士の交流の場、または当事者の方と会員が出会う場、異業種の人材が集まり話すことによって新たな何かを得る場でもあります。楽しいひと時が過ごせましたことに感謝です。（國井）

編集後記

- ・いつまでも暑い日が続いたかと思うと一転、冬のような寒さになったり台風が来たり。今年の秋は秋らしさを感じるできませんでした。学会発表に向け大忙しの市民の会です。（國井）
- ・初めて会報づくりに参加させていただきました。会員の皆様からのアイデアをお待ちしております。（鈴木）



募 集：会報づくりに関心のある方を募集しています。